

説明会の開催結果

谷塚駅西口地区まちづくり基本計画（案）について説明会を開催し、参加者の皆さんから多くの意見をいただきました。

皆さんの意見を踏まえ、令和6年度末の計画策定を行います。

【説明会開催概要】 ■開催場所：谷塚文化センター ホール

■開催日（参加者数）：令和7年2月2日（20名）、令和7年2月4日（21名）



説明会当日の様子

参加者の方から出された主なご意見と草加市の考え（▶以降の記載）

都市計画道路・駅前広場整備は早期に進めてほしい

▶来年度以降から、都市計画道路及び駅前広場の整備に向けて、地区計画などのルールづくり等を検討しつつ、事業を推進します。

関係者の合意を得られるように進めてほしい

▶今後も説明会の開催や、関係する土地建物権利者の皆さんへの個別説明等を通じて検討状況をお知らせし、事業への理解・同意を得られるよう進めていきます。
▶商店会や交通事業者等の関係者の意見も踏まえて検討を進めます。

マナーや治安の問題にも配慮しながらまちづくり用地の利活用を促進してほしい

▶マナー啓発と治安維持のため、商店街や地域の皆さんと連携しゴミ拾い活動等を地域で行っています。
▶意見を踏まえてまちづくり用地内にマナー啓発の看板を複数箇所設置しました。
▶来年度以降も暫定利用を継続するとともに、管理運営のあり方についても検討し、利活用を促進していきます。



＜確認時の状況＞



＜注意看板設置後＞

災害への対応を重視して検討してほしい

▶都市計画道路の無電柱化や排水設備の整備、駅前広場の一時避難場所としての機能を持たせるなど、災害につよいまちづくりを推進していきます。

工事が始まってからも駅前の賑わいを損なわないようにしてほしい

▶地域イベントへの影響を少なくするよう、駅前広場は段階的に工事を行います。
▶周辺道路でのイベントの利活用などを検討し、駅前の賑わいを周辺に波及させていきます。

駐車場や駐輪場の配置はどう考えているか

▶公共的な駐車場の整備については計画していません。
▶駐輪場については民間の台数等を踏まえ検討していきます。

駅前には交通上危険なため早期対策が必要

▶駅前の注意看板や路面標示の状況確認を行い、新たに注意看板を追加で設置しました。

どういった事業手法で整備を進めるのか

▶都市計画道路整備は街路事業を想定しています。地区全体で事業を進めると長期間を要することから、道路以外のエリアは合意形成が図られた範囲から順次検討を進めます。

都市計画道路の整備に関する負担について知りたい

▶都市計画道路の用地買収の費用については、道路に直接敷地が関わっていない方の負担はありません。整備にあたり、県や国の補助金を活用しつつ事業を推進していきます。

【問合せ先】

草加市役所 都市整備部 都市計画課 まちづくり推進係 田中、益子、切敷、工藤

〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号

電話 048-922-1802（直通） FAX 048-922-3145

E-mail toshikeikaku@city.soka.saitama.jp



二次元コードを読み込んでいただくことでメールが送付できます

谷塚駅西口地区まちづくりニュース

令和7年2月

第3号

発行：草加市都市整備部都市計画課

TOPIC 谷塚駅西口地区まちづくり基本計画（案）を作成しました！

皆さんからの意見や各種関係機関等との協議を踏まえ、「谷塚駅西口地区まちづくり基本計画（案）」を作成しました。この計画は、将来像の実現に向けて草加市としてまちづくりの方針や整備展開のあり方を示すものです。

谷塚駅西口地区のまちづくりの将来像について

まちづくりの目標として、谷塚駅西口地区の目指す将来像を、

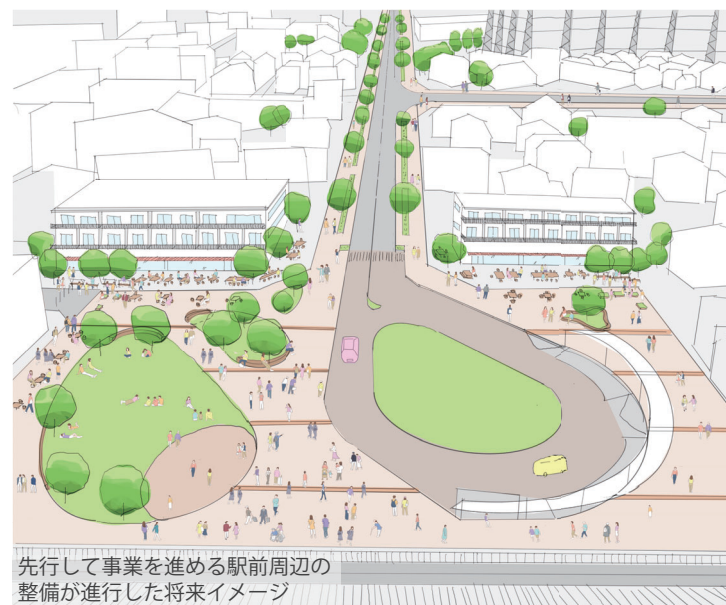
「誰もが思い思いに過ごせる、安全安心で未来に誇れる駅前」

と設定し、災害につよいまちづくりや都市計画道路整備の推進等に取り組んでいきます。

将来像の実現には多くの整備が必要であり、効率的に事業を展開していくことが求められます。

そのため、①駅前の交流空間・拠点機能の早期整備、②段階的な整備の推進を基本的な考え方として事業を推進していきます。

※詳細は谷塚駅西口地区まちづくり基本計画（案）をご覧ください。



先行して事業を進める駅前周辺の整備が進行した将来イメージ



大規模イベント時にロータリーを通行止めにした利活用イメージ

INFO

谷塚駅西口地区まちづくり基本計画（案）について意見募集を行います

「谷塚駅西口地区まちづくり基本計画」の策定のため皆さんから意見を募集します。

まちづくりニュースにアンケートを同封していますので、右側二次元コードもしくは別紙に記載してください。

意見募集期間：令和7年3月17日（月）まで 回答方法は別紙をご確認ください。

※募集期間を過ぎた後も回答を受け付けますので、ご意見等がございましたらご回答をお願いいたします。



目標達成のための整備方針

整備方針１ 災害につよいまちづくり

- 都市計画道路の整備による災害時の安全な空間の確保及び区域全体で準防火地域の指定を検討します。
- 災害時の避難場所として活用できる、防災設備を備えた駅前広場を整備します。
- 都市計画道路は無電柱化を推進し、災害時の倒壊等を防ぎます。また、地区内の雨水排水を円滑に処理し、水害対策を図ります。

整備方針２ アクセスしやすい都市計画道路と安全安心に移動できる交通ネットワークの整備

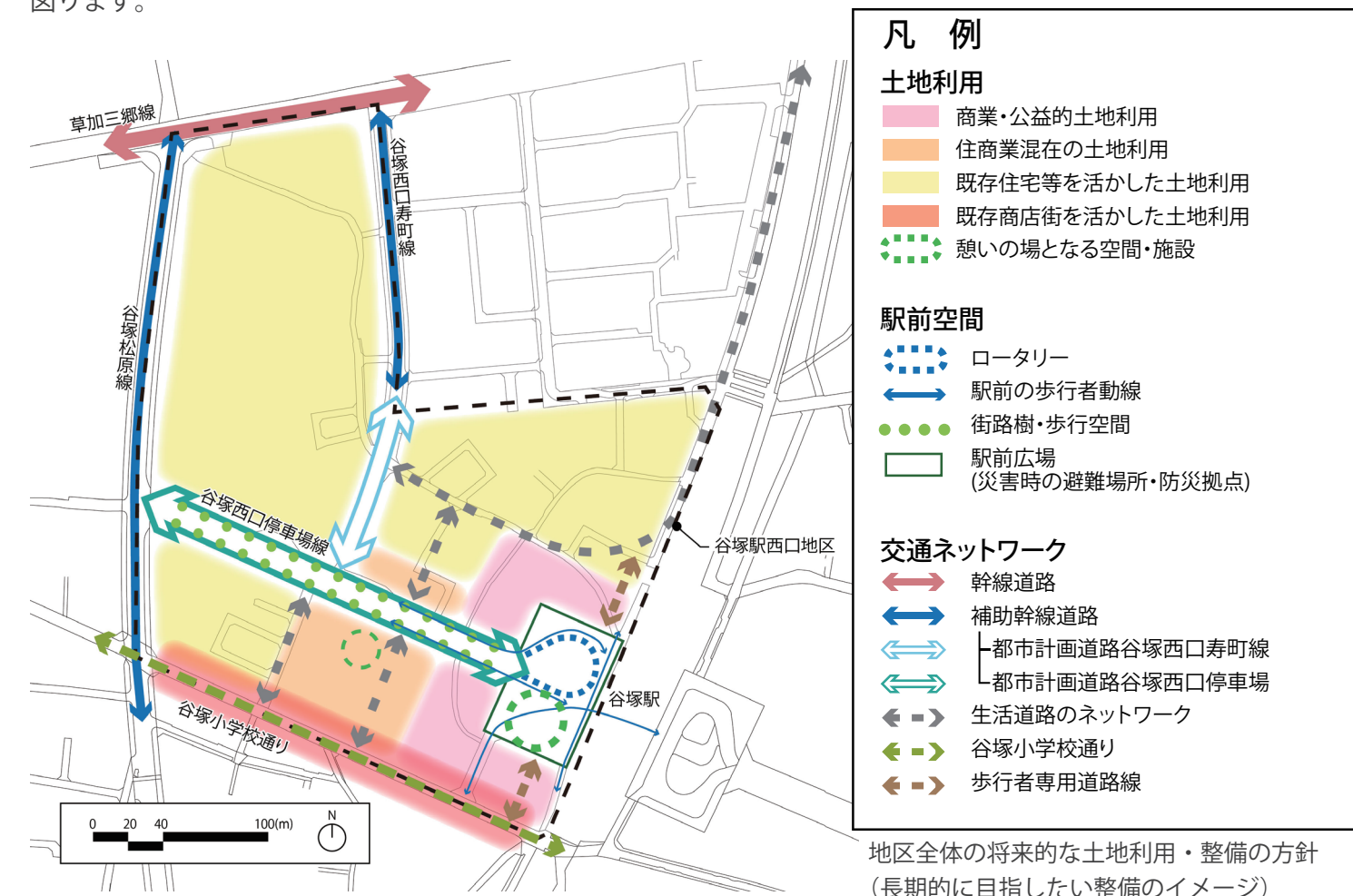
- 地区外周の草加三郷線や国道４号等を車両交通の骨格となる幹線道路として設定します。
- 新たに整備する谷塚西口停車場線は駅前にアクセスする主要な動線として、歩道に街路樹や休憩施設を設け滞在機能を高めます。
- 駅前広場は交通結節点として多様な人の通行機能を高め、広場空間整備により滞在機能も高めます。
- 谷塚小学校通りや駅前周辺の道路は周辺交通ネットワークとの役割分担により、歩行者が歩きやすい環境を目指します。地区内の生活道路は通過交通の流入を避け落ち着いた住環境の維持・向上を目指します。

整備方針３ 居心地の良い、楽しみが集まる駅前空間の創出

- ロータリーは必要最低限の規模としつつ、駅前から谷塚西口停車場線や谷塚小学校通りへ円滑に移動できる歩行者動線を確保します。その上で、広場中央部分に芝生や舗装されたエリアを設けます。
- 日常の憩いや飲食イベントなど、多様な利活用ができる仕様とするため、電源や水道等の設備やキッチンカーの乗り入れスペース等を用意します。
- 大規模イベント時には、ロータリーを一時的に通行止めにして広場との一体活用を可能とします。

整備方針４ 豊かな暮らしが生まれる土地利用の誘導

- 現在の土地利用との整合も図りつつ、まちのポテンシャルを活かした土地利用を誘導します。
- 駅前広場の周辺はまちの顔となるエリアとして、中低層の商業機能や賑わい・交流機能を中心とした土地利用を図ります。



短中期の土地利用方針・整備計画図

将来像の実現に向けて、概ね 10 ～ 20 年後程度の短中期で実現したいと考えている整備のイメージを以下に示します。



A 駅前広場・都市計画道路

日常の憩いやイベントの場、排水路や無電柱化を整備することにより、災害時に避難場所となる広場空間を創出

B 賑わい・交流拠点エリア

低未利用地等を活用し、駅前の顔としてふさわしい魅力的な店舗等を誘導

C 商業機能エリア

既存の施設を活かしつつ、広場機能との連携を促進

D 商業・住宅エリア

リノベーション等を行い既存の建物を活かす

E 憩い・オープンスペースエリア

憩いの場や交流の場となるオープンスペースの維持・創出

F 商店街エリア

自動車の交通規制や速度抑制につながる舗装の修景等の方策を検討

短中期における整備の進め方

整備を進めるにあたり、段階的に整備を推進するため短期・中期・長期の3段階に分けてロードマップを設定します。計画策定から工事着手までの期間については、以下のスケジュールを目標に検討を進めます。

